

「国際湿地都市NIIGATA」の これからの”デザイン”する

新潟市には、^{かた}潟をはじめとする豊かな湿地環境があり、湿地をとおして人と自然が共生してきました。ラムサール条約の湿地自治体認証により世界に認められた新潟市の、都市と湿地・自然との関わり方のデザインをとおして、”国際湿地都市NIIGATA”の将来を展望してみましょう。



【プログラム】

第1部 基調講演

講師: 佐々木 葉 氏
(早稲田大学理工学術院教授)

テーマ: 越後平野の風景デザイン



第2部 「国際湿地都市NIIGATA」 ロゴマーク発表

第3部 「新潟市里潟ガイド」 認定証の授与

第4部 パネルディスカッション 「国際湿地都市NIIGATA」の これからの”デザイン”する



コーディネーター: 遠藤 麻理 さん
(ラジオパーソナリティ/フリーアナウンサー)

【日時】 2025年 **2月9日**  13:30~16:30
(受付12:30~)

【会場】 **新潟県民会館 小ホール** (新潟市中央区一番堀通町3-13)
※お越しの際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。

【申込方法等】 定員 / **先着250名** **入場無料**

方法 / ① 二次元コードで 新潟市ホームページ
「かんたん申込み」……………▶

② 電話で 新潟市役所コールセンター
TEL:025-243-4894



申込開始 / 1月23日(木) [電話受付時間は8:00~21:00 / 年中無休]

第1部

基調講演



【講師】

佐々木 葉 氏 (早稲田大学理工学術院教授 / (公社) 土木学会第112代会長 / (特非) 郡上八幡水の学校副理事長)

景観論・インフラのデザインを中心に研究。共著書に「土木デザイナー・ひと・まち・自然をつなぐ仕事」「ゼロから学ぶ土木の基本-景観とデザイン」「風景とローカルガバナンス」など。水に関わる広義のインフラに注目した地域まちづくりに関心があり、福島も重要な研究のフィールドとしている。

第2部

「国際湿地都市NIIGATA」ロゴマーク発表



【デザインコンセプト等説明】

松浦 柊太郎 氏

(株式会社U・STYLE ディレクター)

鳥屋野潟を中心とした新潟の地域ブランディングに取り組む。「潟ボーイ's」シリーズの企画制作、潟マルシェなど、デザインを通じた地域の魅力創出に向け、様々な場と機会を取組みを進める。公募により今回発表となる「国際湿地都市NIIGATA」のデザインを手掛ける。

～「国際湿地都市NIIGATA」ロゴマークとは～

国内で初めてラムサール条約の湿地自治体認証を受けた新潟市を、都市と自然が共生する「国際湿地都市NIIGATA」としてPRするため、作成するものです。公募により、株式会社U・STYLEさんがデザインを手掛けました。

湿地の保全活動やイベント、市内の特産品・サービスなど、さまざまな場面での活用を期待しています。

第3部

「新潟市里潟ガイド」認定証の授与



～「新潟市里潟ガイド」とは～

新潟市内の里潟の魅力(歴史や見どころ、地域住民との関わり、自然環境、体験プログラム)について、体系的に案内するガイドです。育成講座を修了した方を新潟市が認定します。令和6年に開設し、8月～12月にかけて全5回の講座を行いました。

今回のシンポジウムでは、記念すべき第1回の認定を行います。

第4部

パネルディスカッション



【コーディネーター】

遠藤 麻理 さん (ラジオパーソナリティ/フリーアナウンサー)

BSNラジオ「四畳半スタジオ」(毎週月曜日～木曜日 14:00～18:00) パーソナリティ。エッセイ連載に新潟日報「遠藤麻理のなんとかなる なるようになる なんとでもなる」(第2・4水曜)、著書にこの連載をまとめた「な～る な～る」。前 水の駅「ビュー福島潟」名誉館長。



【パネリスト】 **澤口 晋一 氏**

(新潟国際情報大学教授 / 新潟市里潟研究ネットワーク座長)

専門は自然地理学(地形学)。新潟砂丘や新潟市内の潟について地形学的な視点から調べている。これまでに6冊の潟ガイドブックの作成に携わった。



【パネリスト】 **若尾 明弘 氏**

((特非) 新潟湿地都市研究所理事長 / エヌシーイー(株)取締役)

平成7年秋、転勤で来県。ビルの谷間から見たハクチョウの姿と角田山から俯瞰したパッチ状の田園風景に感動。以降、新潟の湿地をまちの活性化に繋げたいと考えている。

【パネリスト】 **佐々木 葉 氏**

【パネリスト】 **松浦 柊太郎 氏**



このシンポジウムは、毎年2月2日の国連デー「世界湿地の日」のイベントとして開催します

新潟市 潟のデジタル博物館
Niigata City Wetland Digital Museum
<https://www.niigata-satokata.com/>

